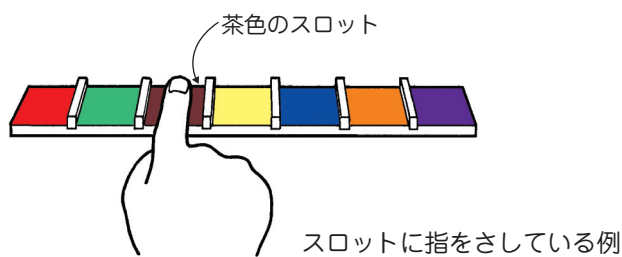


ペーシングボードの かんたんな使いかた 【患者さんへ】



ペーシングボードは、話す速さを遅くさせることで、ことばをはっきりとさせる道具です。

お話をするとき、ペーシングボードのスロット（色がついているところ）に指を順にさしながら、ひとつひとつの音を声に出してください。

ペーシングボードは、「赤」を左にしておき、指は「赤」からさしはじめてください。

たとえば、「リンゴ」とお話する場合、「リ・ン・ゴ」とひとつひとつの音を出すたびに、左から順に指をさしながら声を出します。その際、ポン・ポンとはっきりと指をさしてください。

このようにしてお話すると、ひとつひとつの音がとぎれとぎれになり、不自然な話し方になりますが、発音をはっきりしてきます。

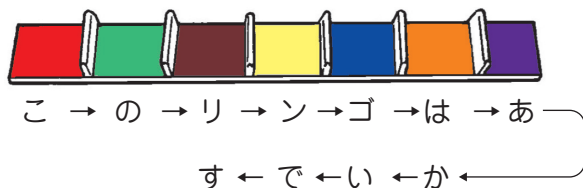
発音をはっきりするのは、ひとつひとつの音を区切りながらゆっくりと話すからです。ご自身が無理なくお話しできる速さからはじめ、少しずつ自然な会話ができるように練習していきましょう。

また、下記のようにご自身の症状に応じて指のさし方を工夫してください。

▶ 重度の方（話の内容がほとんどわからないレベル）

ひとつひとつの音を出すたびに指を順にさしていきましょう。

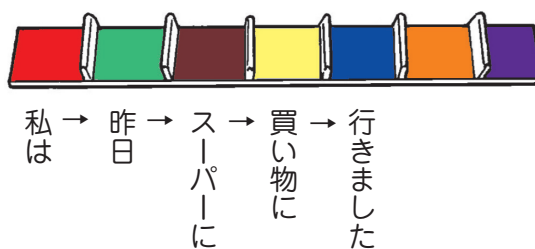
（こ／の／リ／ン／ゴ／は／あ
す ← で ← い ← か ←）



▶ 中等度の方（話題を知っていれば話の内容がわかるレベル）

単語や文節ごとに指を順にさしていきましょう。

（私は／昨日／スーパーに／買い物に／行きました）



日常生活のなかでもペーシングボードを使用するときには、**携帯型ペーシングボード**を使うと便利です。裏にマグネットがついているので、車椅子のアームレストに固定することができます。また、穴にひもを通して首からつり下げすることもできます。常に携帯すると良いでしょう。

このようにして、常にペーシングボードを使ってお話をするうちに、ペーシングボードがなくても、区切りながらゆっくりと話す習慣が身についていき、会話がスムーズになります。